

簡易型環境制御装置
NSシーケアパイロットⅡ

ご愛用の手引き



 株式会社 日本シューター

〒113-8567 東京都文京区湯島 1-12-3

TEL 03-3834-1198

NS シーケアパイロット II

この度は「NS シーケアパイロット II」をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用前に、あるいはご使用中に、この取扱説明書をよくお読みいただき、効果的にお使い下さいますようお願いいたします。

NS シーケアパイロット II はあなたの有能なパートナーです。

大切にお取り扱いの上、末永くご愛用下さい。

NS シーケアパイロット II をお使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みの上ご使用下さい。

尚、取扱説明書にご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先

〒113-8567

東京都文京区湯島 1-12-3



㈱ 日本シューター 新事業統括部 医療福祉部

Tel. 03-3834-1198



Fax. 03-3834-3268

安全上のご注意

- 取扱説明書を末永く手元に保管しご活用下さい。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用下さい。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための内容を記載していますので、必ずお守り下さい。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

警告		この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡又は重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。
注意		この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される」内容を示しています。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

	この絵表示は、してはいけない「禁止」表示です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」表示です。

- 「安全上のご注意」は下記の3項目に分けて説明しています。
 - ・ NS シーケアパイロット本体についての説明
 - ・ 乾電池についての説明
 - ・ NS シーケアパイロット II 本体、乾電池についての共通の説明

NS シーケアパイロットⅡ本体の取り扱いについて



警告



引火、爆発のおそれがある場所では使用しないでください。

禁止

プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。



強制

屋外で使用中に、雷が鳴り出したら、すぐに電源を切って安全な場所に移動して下さい。

落雷、感電の原因となります。



電動車いす及び緊急通報、ナースコール等人命に関わる操作には使用しないで下さい。

禁止



NS シーケアパイロットⅡで発火、発熱の恐れのある機器（ファンヒーター、電気調理器等）の操作には使用しないで下さい。

禁止



注意



NS シーケアパイロットⅡ本体を濡らさないで下さい。

禁止

水、ペットの尿などの液体が入ると、発熱、感電、故障などの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意下さい。



分解禁止

分解、改造は絶対にしないで下さい。

火災、けが、故障の原因となります。

乾電池の取り扱いについて



警告



乾電池をNS シーケアパイロットⅡ本体にとりつけるとき、うまく挿入できない場合は、無理に挿入しないで下さい。

禁止

乾電池を漏液、発火、発熱、破裂させる原因となります。



強制

乾電池内部の液が目に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けて下さい。

失明などの原因となります。



乾電池の端子をショートさせないで下さい。

禁止

乾電池を漏液、発火、発熱、破裂させる原因となります。端子を針金などの金属類で接続しないで下さい。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち込んだり、保管しないで下さい。



分解、改造しないで下さい。また、直接はんだ付けしないでください。

禁止

乾電池を漏液、発火、発熱、破裂させる原因となります。



乾電池を火のそば、ストーブのそばなどの高温の場所で使用、放置しないでください。

禁止

乾電池を漏液、発火、発熱、破裂させる原因となります。



乾電池を火の中に投入しないでください。

禁止

乾電池を漏液、発火、発熱、破裂させる原因となります。



乾電池を保管する場合は、端子に絶縁テープをはり、絶縁状態にしてください。

強制

絶縁状態にしないで保管すると、端子間同士が接触してショートを起こし破裂・発火させる原因となります。

< 共通事項 >



注意



禁止

電子レンジや高圧容器に、乾電池や NS シークエアパイロットⅡ本体を入れないで下さい。

乾電池を漏液、発火、発熱、破裂させたり、NS シークエアパイロットⅡ本体の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。



禁止

風呂場など水のある場所では使わない。

機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。



強制

初めて使用する場合、又は子供が使用する場合は保護者が取り扱いの内容をお教え下さい。また使用中に置いて、指示どおりに使用しているかをご注意ください。

けがの原因となります。



強制

NS シークエアパイロットⅡは、乳幼児の手の届かないところに保管してください。

けがなどの原因となります。



強制

乾電池は、乳幼児が誤って飲み込むことがないような場所に保管してください。

万一飲み込んでしまった場合は、直ちに医師にご相談ください。

ご注意

- この機器の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子さまの手の届くところに置かないで下さい。
- 強い衝撃を与えないで下さい。
- 不安定な場所に置かないで下さい。
- 湿気やホコリの多いところ、又高温となるところには保管しないで下さい。
- 目的用途以外の使用はしないでください。故障の原因となります。

取り扱い上のお願い

■ 共通のお願い

- ・ NS シークエアパイロットⅡ本体、乾電池は防水仕様になっておりません。浴室など、湿気の多いところではご使用にならないで下さい。
- ・ お手入れの際は、乾いた柔らかい布で拭いてください。ぬれた雑巾などで拭くと、故障の原因となります。また、ペンジン、シンナー、アルコール、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色あせたりすることがありますのでご注意ください。

■ NS シークエアパイロットⅡ本体についてのお願い

- ・ 温度は 5℃～35℃の範囲でご使用ください。極端な高温、低温でのご使用、保管は避けて下さい。
- ・ NS シークエアパイロットⅡを汚れやすい所に置かないで下さい。

■ 乾電池についてのお願い

- ・ 不要になった乾電池は一般のゴミと一緒に捨てないで下さい。不要になった乾電池は、電池を分別してる市町村では、その指示に従って処理して下さい。

■ 他の機器・装置との接続

当社は NS シーケアパイロット II と他の機器・装置（ナースコール・緊急通報等を含む）との接続及び整合性並びに接続の結果発生した事故、不具合、故障等については責任を負いかねますので、予めご了承下さい。

■ 病院等の施設内で使用する際の注意点

NS シーケアパイロット II（以下「本機器」といいます）の利用者が貴院施設内において本機器を使用するに際しては、貴院において、利用者に対し、本機器の使用方法及び機器の特性を十分にご説明下さい。

本機器の利用者もしくは、貴院が本機器と貴院施設内の他の機器・装置（ナースコール・緊急通報等を含む）との接続をご希望の場合には、貴院の御判断と御責任において接続作業をお願いいたします。なお、当社は、貴院による接続作業及び接続の結果発生した事故並びに機器の故障及び事故については責任を負いかねますので、予めご了承下さい。

■ 相談用コールとして使用する際の注意点

本機器は緊急通報機器ではありませんので、緊急通報用として使用した結果発生した事故並びに機器の故障及び事故については責任を負いかねますので、予めご了承下さい。

本機器を通報機器の相談用コール及び安否確認システムの一環として使用する場合には当社にご相談下さい。

目次

1. NS シークエアパイロットⅡの紹介	2
2. 梱包内容	2
3. 説明	3
4. 準備	4
5. コマンドの学習	6
5.1 学習機能の起動	6
5.2 リモコンの整列	7
5.3 学習	8
6. NS シークエアパイロットⅡを使用した機器の操作	11
7. 発光ボタン	11
8. スキャンモード（順送りモード）	13
9. 特殊な注意事項	16
10. 故障かな？と思ったら	17
11. 技術データ	18

NS シークエアパイロットⅡにコマンドを学習させる手順の概要については、10 ページの「コマンドの学習のまとめ」を参照してください。

1. NS シークエアパイロットⅡの紹介

NS シークエアパイロットⅡは、高齢の方や上肢に障害を持つ方でも操作が容易で使い易いリモコンです。

出荷時の状態では、ボタンに何の機能も登録されていません。

NS シークエアパイロットⅡは、家電製品の赤外線リモコン信号を登録してご使用いただけます。複数の赤外線リモコン信号を登録することで、1 台の NS シークエアパイロットⅡで複数の家電製品を操作することができます。

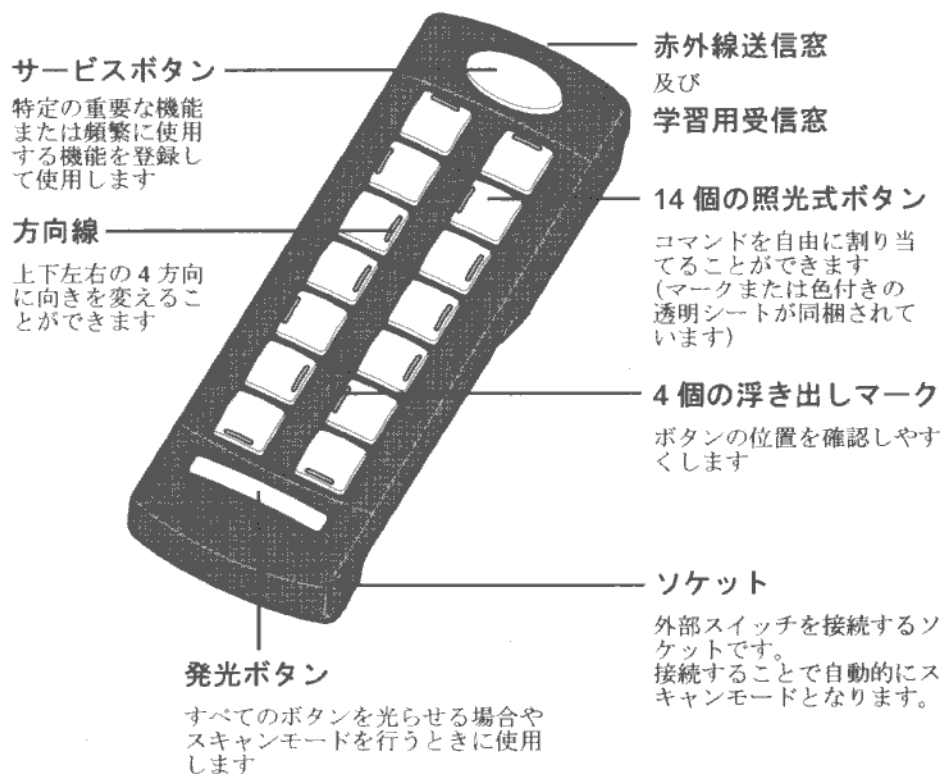
2. 梱包内容

本製品には、次の品が同梱されています。



- NS シークエアパイロットⅡ本体
- 陰画マークがプリントされている透明シート 1 組
- 陽画マークがプリントされている透明シート 1 枚
- 透明シートの何もプリントされていない部分
- 色付きのフィルター 1 組
- 予備のボタンキャップ 2 個
- 操作マニュアル 1 組

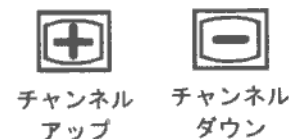
3. 説明



NS シーケアパイロット II の特長

- 大きく、操作しやすいボタン
- コマンドを自由に割り当てることができる15個のボタン
- 操作しやすいサービスボタン
- 1つのスイッチで操作ができるスキャンモード
- ボタン表面の方向線
- リモコン表面の浮き出しマーク
- リモコンを滑りにくくする6本のゴム製滑り止め脚
- 外部スイッチの接続可能
- 赤外線到達距離 10m (室内)

4. 準備



NS シーケアパイロット II に別のリモコンの機能を登録する準備をします。

透明シート

左記の例を参考にして、学習させる機能に合ったシートを使用してください。自分でマークを作成する場合は、同梱の無地の透明シートを使用してください。

陰画マークのシートを使用すると、ボタンを点灯させたときにマークの形が浮き出るように光るので、ボタンがはっきりと表示されます。

ボタンの割り当て

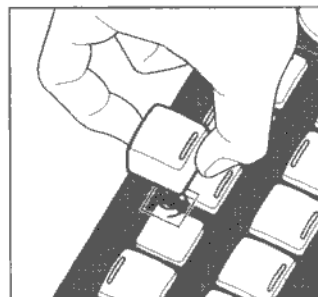
1. NS シーケアパイロット II で操作したい機器の一覧を書き出します。
2. NS シーケアパイロット II に学習させる各機器の機能を検討します。

ヒント: テレビの場合は、電源のオン/オフ、音量の上/下、チャンネルの上/下といった機能を登録します。

3. 適当なマークを選択します。
4. ボタンに色を割り当てる場合は、適当な色のフィルターを選択します。

例: テレビ機能を割り当てるボタンには、すべて青いフィルターを使用します。

5. ボタンからキャップを外します。ボタンのキャップには、方向線とその反対側の側面に切り込みが付いています。人差し指と親指の指先で、この切り込みをつまんでキャップを外してください。



6. ボタンの表面にマークを置きます。カラーフィルターを使用する場合は、マークの下に置きます。
7. ボタンのキャップの向きを決めます。方向線を上下左右のお好きな方向に向けることができます。
例：テレビ機能を割り当てるボタンの方向線を左向きで統一します。
8. ボタンのキャップを取り付け直します。

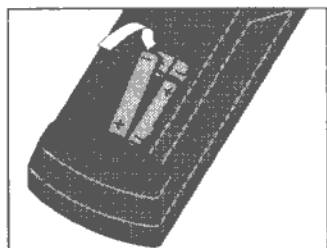
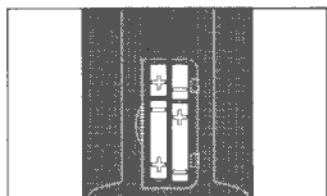
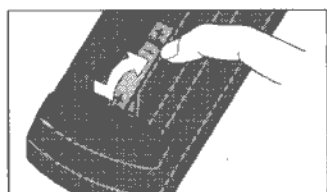
乾電池の取り付けと交換

乾電池ホルダーは NS シーケアパイロットⅡの背面に位置しています。

NS シーケアパイロットⅡが機能するには、単四電池が4本必要です。

1. 乾電池ホルダーの蓋の小さなフラップを押し込み、蓋を取り外します。
2. 乾電池を取り付けるときは、乾電池とホルダーの「+」と「-」のマークに注意してください。
3. 奥側の乾電池から挿入します。
4. 手前側の乾電池をホルダーの開口部のばねに向かって押し込み、挿入します。
- 乾電池を交換するときは、必ず4本同時に交換してください。
5. 乾電池ホルダーの蓋を閉めます。

新しい乾電池を挿入しないで数ヶ月が経過しても、機能は消去されずに、保持されます。



5. コマンドの学習

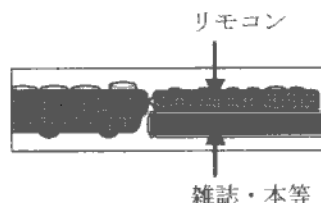
コマンドを学習するための手順の概要については、10ページの「コマンドの学習のまとめ」を参照してください。

コマンドを学習するための手順は、「起動」、「整列」、「学習」の3段階で構成されています。

NS シーケアパイロットⅡの学習機能は、コマンドを20秒間受信しないと自動的に機能を停止します。

リモコンは、次のように設置してください。

- 双方のリモコンをできるだけ近づけて設置します。
- 良好な受信状態を実現するために、双方のリモコンを同じ高さに設置します。向かい合せたリモコンがNSシーケアパイロットⅡより薄い場合は、このリモコンを雑誌や本の上に設置してください。

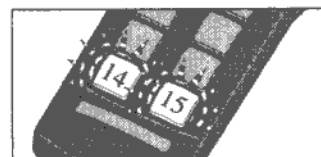
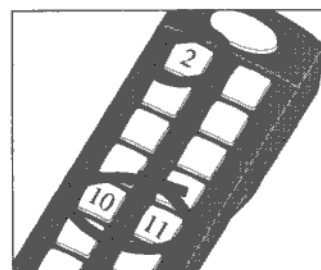


5.1 学習機能の起動

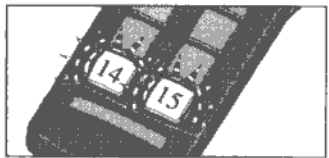
注：学習機能を一度起動するごとに、1台のリモコンだけのコマンドを学習できます。各リモコンからコマンドを学習する度に、学習機能のオン/オフを切り替える必要があります。

1. NS シーケアパイロットⅡの⑩と⑪のボタンを同時に押します。これらのボタンはそのまま押さえておきます。
2. ②のボタンを押します。

学習機能が起動すると、すべてのボタンを1周するようにボタンが光り、その後⑭と⑮のボタンが交互に点滅します。



5.2 リモコンの整列



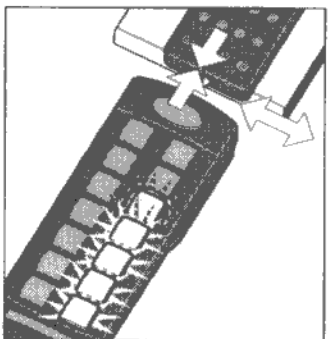
NS シークアパイロットⅡの学習場所は赤外線窓の中心に位置しています。

学習機能が有効になると、⑭と⑮のボタンが交互に点灯します。

第1の方法

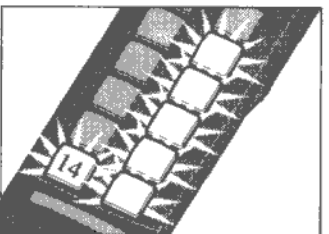


通常、NS シークアパイロットⅡと別のリモコンをできるだけ近づけ、向かい合わせに設置した場合に信号の伝達状態が最良になります。



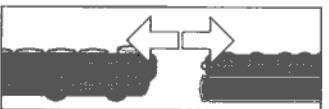
- 向かい合せたリモコンの任意のボタンを押します。ボタンを押しながら、このリモコンを左右に少しずつ動かして最良な位置を特定してください。最適な受信状態が得られると、右下に位置した約5個のボタンが点灯します。ボタンから手を放し、リモコンをその位置から動かさないようにして、次の節に進んでください。

第2の方法



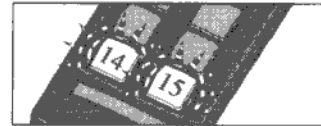
信号を伝達する際に、双方のリモコンの間に隙間を空けない場合があります。

最初の方法を試したときに右側の列と⑭のボタンが点灯した場合、双方のリモコンの間に2～4cmの間隔を開けると信号の伝達状態が最良になります。



- 向かい合せたリモコンの任意のボタンを押しながら、このリモコンをNS シークアパイロットⅡから2～4cmの範囲で間隔を広げていきます。最適な受信状態が得られると、左下に位置した5個のボタンが点灯します。左側のボタンが点灯しない場合は、再度リモコンをできるだけ近づけて、向かい合わせに設置し、手順1の方法を試してみてください。

5.3 学習



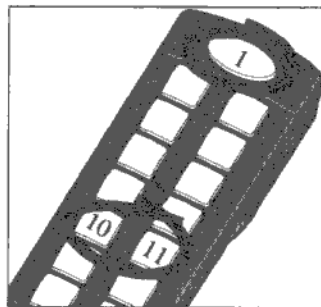
下端に位置した⑭と⑮のボタンが交互に点滅します。

- NS シークアパイロットⅡのコマンドを覚え込ませたいボタンを押します。ボタンが点灯したら、コマンドを学習できます。
- 向かい合せたリモコンの、NS シークアパイロットⅡに学習させたいボタンを押します。
 - NS シークアパイロットⅡのボタンがすばやく点滅したら、向かい合せたリモコンのボタンから手を放します。
- NS シークアパイロットⅡの選択したボタンが3回点滅するまで、上記の手順2を繰り返します。このコマンドを覚え込むと、NS シークアパイロットⅡのすべてのボタンを周回するようにボタンが光ります。
- 別のコマンドを覚え込ませたい場合は、上記の手順1に戻ります。このリモコンのコマンドをこれ以上覚え込ませない場合は、学習機能を終了します。

注：向かい合せたリモコンのボタンを6回以上押してもコマンドを覚え込まない場合は、リモコンの位置が正しいか、向かい合せたリモコンの乾電池が消耗していないか確認してください。

学習機能の終了

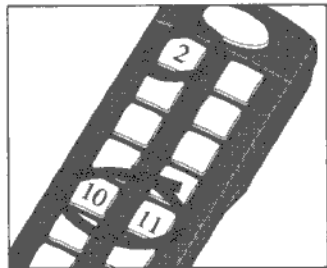
- ⑩と⑪のボタンを同時に押し、そのまま押さえておきます。
- 楕円形のサービスボタン①を押します。⑭と⑮のボタンの点滅が止まります。



学習機能の自動終了

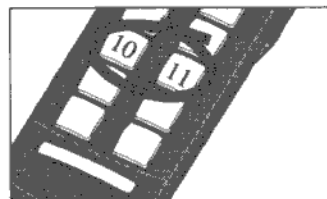
NS シークアパイロットⅡの学習機能は、コマンドを20秒間受信しないと自動的に機能を停止します。すでに保存されてあるコマンドは保持されます。

機能の消去



ボタンは保護されているので、NS シークアパイロットIIに覚え込ませた機能を間違えて削除してしまう恐れはありません。特定のボタンから既存の機能を削除するには、次のようにします。

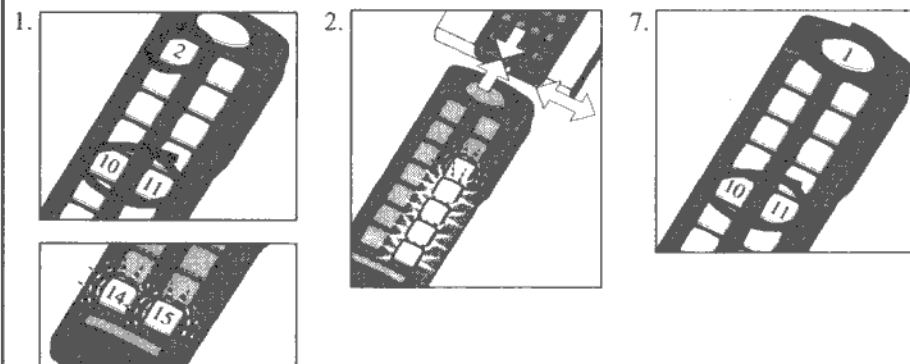
既存の機能を削除するには、NS シークアパイロットIIと別のリモコンが必要です。



1. 学習機能を起動します(⑩と⑪のボタンを同時に押しながら、②を押します。すべてのボタンを1周するようにボタンが光り、その後⑭と⑮のボタンが交互に点滅します)。
2. リモコンを整列します。(5.2 リモコンの整列を参照)
3. コマンドを削除したいNS シークアパイロットIIのボタンを押します。ボタンが点灯したら、コマンドを削除できます。
4. ⑩と⑪のボタンを同時に押し、そのまま押さえておきます。
5. 向かい合せたリモコンの任意のボタンを押します。
6. 対象のボタンがすばやく点滅したら、向かい合せたリモコンのボタンから手を放し、次に、NS シークアパイロットIIの⑩と⑪のボタンから手を放します。対象のボタンが3回点滅し、NS シークアパイロットIIのすべてのボタンを周回するようにボタンが光ります。
7. 対象のボタンから既存の機能が削除されます。機能が削除されると、ボタンを押しても光らなくなります。

コマンドの学習のまとめ

1. 学習機能を起動するには、⑩と⑪のボタンを同時に押しながら、②を押します。⑭と⑮のボタンが点滅します。
2. 別のリモコンを NS シークアパイロットIIと向かい合わせに設置し、任意のボタンを押します。向かい合せたリモコンを動かします。最適な受信状態が得られると、右側の5個のボタンが点滅します。ボタンから手を放します。
3. NS シークアパイロットIIに学習させたいボタンを押します。
4. NS シークアパイロットIIのボタンがすばやく点滅するまで、向かい合せたリモコンのボタンを押します。
5. この手順を繰り返します。このコマンドを学習すると、NS シークアパイロットIIのボタンが3回点滅し、すべてのボタンを周回するようにボタンが光ります。
6. NS シークアパイロットIIの次のボタンを押して、新しいコマンドを登録します。
7. 学習機能を終了するには、⑩と⑪のボタンを同時に押しながら、①を押します。



6. NS シークアパイロットⅡを使用した機器の操作

通常の操作に加えて、スキャンモードを使用して機器を操作できます(13ページの「8. スキャンモード(順送りモード)」を参照してください)。

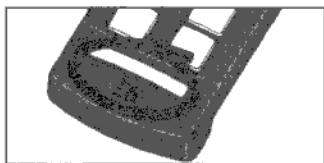
NS シークアパイロットⅡはその他のリモコンと同じように使用できます。

- NS シークアパイロットⅡは、コマンドを送信している間は次のようになります。
 - 信号の送信が終わるまで、押したボタンが点灯し続けます。
 - 押したボタンがすばやく点滅します。

どちらの反応も正常ですが、学習したコマンドによって点灯時間が異なります。

- コマンドを学習していないボタンを押しても点灯しません。

7. 発光ボタン



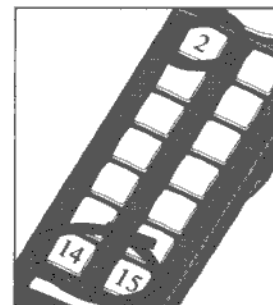
⑯のボタンは、発光ボタンまたはスキャンモードを使用するときの起動ボタンとして使用します。出荷時の状態では、このボタンは発光ボタンとして設定されています。

すべてのボタンが点灯すると、ボタンが1個だけ点灯した場合に比べて暗くなります。発光ボタンを使用すると、乾電池の消耗が速くなります。

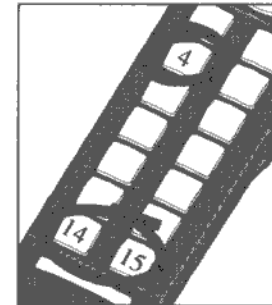
- 発光ボタンは、すべてのボタンを点灯させるときに使用します。
- 点灯時間を5秒、10秒、または、15秒に設定できます。

- すべてのボタンが点灯しているときに任意のボタンを押すと、ボタンを押している間はそのボタンだけが点灯します。ボタンから手を放すと、再度、すべてのボタンが5秒間、10秒間、または、15秒間点灯します。

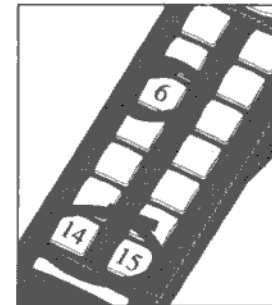
点灯時間の調節



点灯時間を5秒に設定する場合は、⑭と⑮のボタンを同時に押しながら、②のボタンを押します。



点灯時間を10秒に設定する場合は、⑭と⑮のボタンを同時に押しながら、④のボタンを押します。



点灯時間を15秒に設定する場合は、⑭と⑮のボタンを同時に押しながら、⑥のボタンを押します。

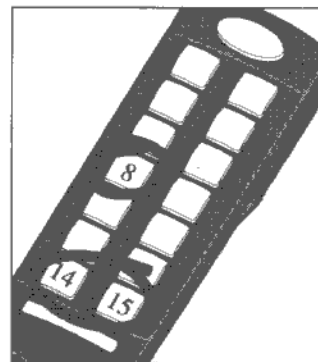
コマンドが受け入れられると、楕円形のサービスボタン①が点滅します。

輝度の設定

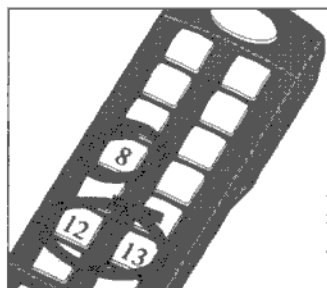
注：部屋が明るいとき、輝度の違いを判断し難くなる場合があります。

輝度は4段階に設定できます。ボタンを明るく点灯させると、電力消費量が多くなり、乾電池の消耗が速くなります。

- ⑭と⑮のボタンを同時に押し、そのまま押さえておきます。
- ⑧のボタンを押します。楕円形のサービスボタン①が順番に異なる輝度で点灯します。
- 設定したい輝度でボタンが点灯しているときにボタンから手を放します。



8. スキャンモード（順送りモード）



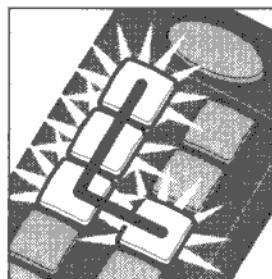
このスキャンモードでは、NS シーケアパイロット II を 1 つのスイッチで操作できます。このスキャンモードを使用するには、発光ボタンをスキャンモードに変更するか、外部スイッチを接続する必要があります。

発光ボタンをスキャンモードに変更する方法

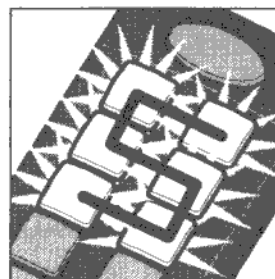
スキャンモードを使用するための第 1 の方法

- ⑫と⑬のボタンを同時に押しながら、⑧を押します。

上部のボタンが L と S の形に交互に点滅します。



L 形のときにボタンから手を放す＝
発光ボタン

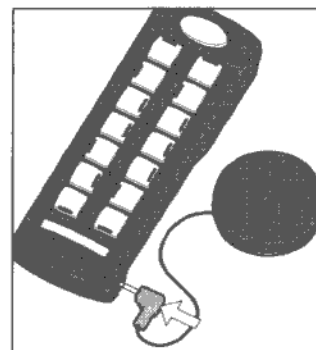


S 形のときにボタンから手を放す＝
スキャンモード

- ボタンが設定したい機能を示した形に点灯しているときに、ボタンから手を放します。

スキャンモードに変更すると、⑯のボタンを発光ボタンとして使用できなくなります。

このボタンは、すべてのボタンが点灯がしていないときにだけ、発光ボタンに戻すことができます。発光ボタンに戻す場合は、すべてのボタンが消灯するまで待ち、⑫と⑬のボタンを同時に押しながら、L 形が表示されるまで⑧を押し続けます。



外部スイッチの接続

スキャンモードを使用するための第 2 の方法

発光ボタンの機能に影響をしません。

NS シーケアパイロット II に接続可能な外部スイッチは専門店で購入できます。外部スイッチを接続すると、機能を備えたすべてのボタンを 2 周するようにボタンが光ります。

スキャンモードの動作方法

- 外部スイッチを接続している場合は、これを押します（外部スイッチを使用していない場合は、⑯のボタンを押します）。
ボタンが順番に点灯します。
- 動作させたいボタンが点灯したときに、接続した外部スイッチもしくは⑯のボタンを押します。点灯しているボタンの機能が実行されます。
- 再び、ボタンが順番に点灯します。
ボタンの点灯は中断できません。
- ボタンの点灯は 2 周すると、終了します。外部スイッチもしくは⑯のボタンを押すと再度ボタンが順番に点灯します。

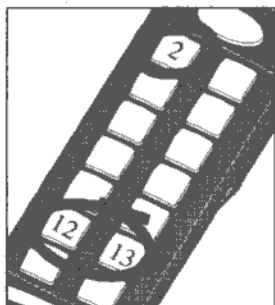
注：スキャンモードの間に、ボタンを直接押して操作することもできます。ボタンを離すと、再び、ボタンが順番に点灯します。

使用できる外部スイッチ

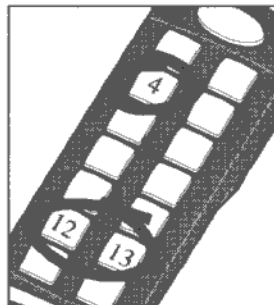
コネクタ形状がミニプラグ（3.5mm モノラル）のスイッチをご使用下さい。

スキャンモードの順送り時間の設定

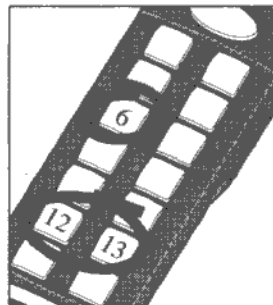
スキャンモードの使用時における各ボタンの点灯時間を3段階に設定できます。



点灯時間を1秒に設定する場合、⑫と⑬のボタンを同時に押しながら、②のボタンを押します。



点灯時間を1.8秒に設定する場合、⑫と⑬のボタンを同時に押しながら、④のボタンを押します。

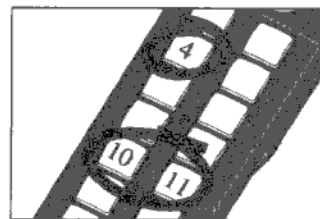


点灯時間を2.6秒に設定する場合、⑫と⑬のボタンを同時に押しながら、⑥のボタンを押します。

9. 特殊な注意事項

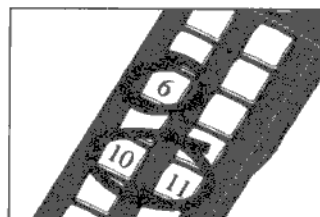
市販されているリモコンは様々な方式を採用しています。NSシーケアパイロットⅡはこれらの大部分の方式を自動的に認識することができます。NSシーケアパイロットⅡがこの方式を正しく認識できなかった場合は、学習機能を実行できません。

NSシーケアパイロットⅡのボタンを途中で1回または3回押した場合にしか機能しないボタンはコマンドを学習し直す必要があります。



別のボタンを1回押さなければならない場合

⑩と⑪のボタンを同時に押しながら、④のボタンを押して学習機能を起動します。7ページの「5.2 リモコンの整列」に記述されている手順を実行してください。



別のボタンを3回押さなければならない場合

⑩と⑪のボタンを同時に押しながら、⑥のボタンを押して学習機能を起動します。7ページの「5.2 リモコンの整列」に記述されている手順を実行してください。

10. 故障かな？と思ったら

	こんなときは	ここをお調べ下さい
電源	電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電源は正しくセットされていますか？ ・ 電池は切れていませんか？ (5 ページを参照して下さい。)
信号学習	信号が学習できない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習させたいリモコンの電池は消耗していませんか？ ・ NS シーケアパイロットⅡの電池は消耗していませんか？ ・ 省エネ型照明もしくは太陽光に妨害されている可能性はありませんか？ ・ 学習させたいリモコンは最適な位置にセットされていますか？ (7 ページを参照して下さい。)
今まで操作できていたのに操作できなくなった	電池の消耗	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電池が消耗している可能性があります。新しい電池と交換して下さい。 (5 ページを参照して下さい。)
	赤外線信号が届かない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家電製品の位置変更もしくは室内のレイアウト変更により NS シーケアパイロットⅡと家電製品の間に障害物はありませんか？赤外線信号が届くようにレイアウトを変更して下さい。
	家電製品の主電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家電製品の主電源が入っていますか？主電源を入れてください。
	家電製品の故障	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家電製品の付属リモコンで動作確認をして下さい。付属リモコンでも動作しない場合は機器の故障です。機器の修理をして下さい。
機器が反応する時としない時がある	機器が2回または4回おきに押したボタンにしか反応しない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特殊な注意事項 (16P) を参照して下さい。
ボタンの光りがおかしい動きをしている	NS シーケアパイロットⅡをリセットしたい	<ul style="list-style-type: none"> ・ NS シーケアパイロットⅡをリセットするにはいったん電池を取り外し、再度電池をセットして下さい。 リセットしても記憶している信号は消えることはありません。

11. 技術データ



外形寸法： 210 × 29 × 70mm
(長さ／高さ／幅)

重量： 230g

使用乾電池： 単四電池 4 本